（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の自然資源活用と地域の魅力発信による女性の雇用創出事業
事業主体 （連絡先）	uni 小谷村大字北小谷 7636
事業区分	産業振興、雇用拡大（エ商業の振興）
事業タイプ	ソフト
総事業費	469,921 円（うち支援金：375,000 円）

事 業 内 容

2023 年度には、野草とオーガニックハーブを組み合わせた試作を重ね、商品のバリエーションを拡大。より多くの女性に寄り添う商品づくりを実現しました。さらにブランドの認知拡大を目的にマルシェへ出店し、直接お客様と触れ合う機会を増やすことで、ブランドの魅力を発信。
2024 年度には、新たにホットのテイクアウトドリンクの提供や、ハーブを使用した焼き菓子の販売を導入し、より多くの方に手軽に楽しんでいただける形へと進化しました。



【マルシェ出店の様子】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①女性の雇用創出
女性の雇用：4 名（マルシェ販売、野草採取、商品制作等に従事）
②マルシェ 1 回あたりの売り上げ増
赤れんがマルシェ 13,520 円
Toyota street marche 23,150 円
③商品開発
野草を使用した焼き菓子やグラノーラを作成

【目標・ねらい】

①女性の雇用創出
②売り上げ増
③新商品の開発

※自己評価【　B　】

【理由】
目標としていた売上、女性の雇用創出には繋がった。今後、雇用を安定化していくために、収益化に向けた取り組みが必要と考えられるため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

販促を強化し、より多くの方にお届けできるよう取り組んでまいります。来年度は、EC サイトの立ち上げやサブスクリプション型の販売を導入し、定期的にお楽しみいただける仕組みを構築。より利便性の高い購入方法を提供し、ブランドの認知拡大と収益の向上を図ります。
また、こうした事業の発展を通じて、女性が安定して働ける環境を整え、雇用創出への貢献を目指します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある